

特定健診・保健指導の医療費適正化効果等の検証のためのワーキンググループ
**特定健診・保健指導の3疾患関連入院外医療費への効果額
シミュレーションツール <概要>**

1. ツール開発の目的

特定健診・保健指導の3疾患関連入院外医療費への効果額シミュレーションツールは、「特定健診・保健指導の医療費適正化効果等の検証のためのワーキンググループ」におけるこれまでの効果検証の結果を踏まえた上で、保険者の特定健診・特定保健指導の更なる推進と検証に資することを目的として開発されたツールである。

2. ツールの機能概要

2-1. 機能について

本ツールは、各保険者が被保険者数（加入者数）や特定健診受診率等のデータを入力することにより、特定保健指導実施率等の増大効果による3疾患関連入院外医療費の縮減額を算出し、その結果を視覚的に確認できるようグラフにて表示するものである。

なお、本ツールは、入力データの年度に特定保健指導を受けた者（実施率等の想定目標値を反映させた人数分）に限定して、5年後までの縮減額を算定するものであり、当該年度以降に新規に特定保健指導を受ける者については加味されていない。

2-2. 入力データについて

各保険者にて入力いただく各種情報（データ）は、以下の通りである。なお、特定健診受診率など、一部、想定目標値を設定する項目がある。

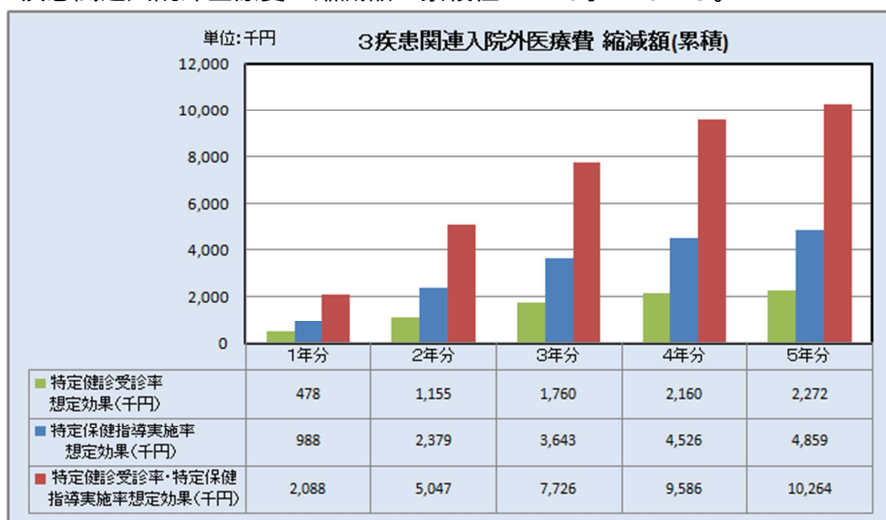
入力データ種類	実績値	想定値
保険者種別および入力データ年度		-
被保険者数(加入者数)、被扶養者数		-
特定健診受診率		-
積極的支援該当者割合、動機づけ支援該当者割合		-
特定保健指導実施率（積極的支援、動機づけ支援）		-
推計用一人当たり診療費		-
入院外総医療費（入力データ年度の翌年度予想額）	-	

2-3 . シミュレーションの結果について

本ツールによるシミュレーション結果は、「3疾患関連入院外医療費」の縮減効果を示したものである。結果グラフには、「3疾患関連入院外医療費 縮減額(累積)」と「想定目標値に基づく減額後入院外総医療費(単年度)」の二種がある。ここでは、当該結果の「3疾患関連入院外医療費 縮減額(累積)」を例示する。

例) 3疾患関連入院外医療費 縮減額(累積)について

- ・下グラフは、生活習慣病3疾患(糖尿病、高血圧、脂質異常症)に関する入院外医療費に対して特定健診受診率、特定保健指導実施率の変化がおよぼす効果を示したものの。
- ・特定健診実施率が実績値から想定目標値に高まったことにより保健指導対象者が増加することの影響と、特定保健指導実施率が実績値から想定目標値に高まったことによる影響、健診受診率と保健指導実施率の増加の相乗効果による影響を、それぞれ3疾患関連入院外医療費の縮減額の累積値として示している。



【参考：活用事例】

毎年度、特定保健指導を実施することによる3疾患関連入院外医療費の縮減額の推計

毎年度、特定保健指導を実施することによる3疾患関連入院外医療費の縮減額は、下図の色帯に示すように、特定保健指導実施率等の想定目標値を繰り返し設定し推計した縮減額(該当年分)の和として求めることができる。

例えば、最初の入力データ年度を平成26年度とする場合、下図における平成31年度の3疾患関連入院外医療費の累積縮減額は、繰り返し推計した縮減額の5年分、4年分、3年分、2年分、1年分の和(縦に足した値)となる。

保健指導実施年度	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
平成26年度	40%					5年分			
平成27年度	45%					4年分			
平成28年度	50%					3年分			
平成29年度	55%					2年分			
平成30年度	60%					1年分			

以上